

令和6年度実施分
協働事業・市民活動助成事業



報告シート



松 戸 市

はじめに

松戸市では、「豊かで活力ある地域社会の実現」をめざして、市民及び市民活動団体、民間事業者と市による「協働のまちづくり」を推進しております。

その支援として、市民活動団体・民間事業者の活力を活かし、市と事業の企画から実施までを協力して行う「協働事業提案制度」と、新たな市民活動の立ち上げや既存の活動を発展させる「市民活動助成制度」があります。

【協働事業提案制度】

協働事業は、市民活動団体や民間事業者と行政のそれぞれが強みの部分を活かし、身近にある地域課題の解決に向けて、協力して実施する事業です。

協働事業提案制度は、市民活動団体や民間事業者が、協働事業を提案し、市と協力して、その事業を企画し、実施する制度です。

令和6年度は5事業実施しました。

【市民活動助成制度】

新たな市民活動を立ち上げるため、又は、既存の活動をさらに発展させるための事業に要する一時的な資金を助成することで、市民活動の活性化を図り、豊かで活力ある地域社会の実現に貢献することを目的とします。

新しく事業を立ち上げるときや、今行っている事業を発展させたいときに提案できる「スタート助成（助成上限額 10 万円）」と、既存事業を拡大、発展させたいときに提案できる「ステップアップ助成（助成上限額 30 万円）」の2つの部門を設けております。

令和6年度は5事業（スタート助成4事業、ステップアップ助成1事業）実施しました。

目 次

令和6年度協働事業・市民活動助成事業 事業概要

【協働事業】		ページ
○ みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観事業	エディブルウェイプロジェクトチーム みどりと花の課	1
○ 町会・自治会の活動をPRして親しみをもってもらおう事業	できる街プロジェクト 市民自治課	2
○ 日本語を母国語としない子どものための学習支援事業	認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会 国際推進課	3
○ 地域まるごとで孤育てを予防する連携システム事業	まつどでつながるプロジェクト運営協議会 子ども政策課	4
○ まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業	まつど地域活躍塾つながりの会 政策推進課 SDGs推進担当室	5
【市民活動助成事業（スタート助成）】		ページ
○ 『まつどちゃん』シリーズ製作事業	まつどアソビティ	6
○ 「おひとりさま安心」講演会・相談会事業	特定非営利活動法人 おひとりさま安心 コンシェルジュ	7
○ ぶどうの家 おもしろ実習教室事業	特定非営利活動法人 葡萄の家	8
○ 社会起業家・副業家としての創業機運醸成事業	サスティナブルな市民活動研究所	9
【市民活動助成事業（ステップアップ助成）】		ページ
○ 四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業	小金原みんなでわくわくする会	10
● 協働のまちづくり基金について		11
● 協働のまちづくり基金 寄附者一覧(令和6年度)		12

<p>みんなで育て みんなで作る 沿道の食べられる景観事業</p>	団体名	エディブルウェイ プロジェクトチーム
	事業担当課	みどりと花の課

事業費	494,887円	自己資金	90,240円	負担金	404,647円
-----	----------	------	---------	-----	----------

令和6年度（2024年度）事業の取り組み【報告】

①-1 食べられる景観づくり（通年）（まちのプランター）

地域沿道に設置された11個の大型プランターに野菜やハーブ、花を寄せ植えし、「まちのプランター」として食べられる景観づくりを実施。町会や子ども会、地域包括支援センターと協力し、植物の管理をしました。



①-2 食べられる景観づくり（通年）（沿道の個人宅、事業所前）

沿道の個人宅前や事業所前にプロジェクトのプランターを設置し、食べられる景観づくりを実施。リレー栽培と植え替えのコツを教える講座を開催。年に2回開催した苗交換会を通じて地域住民同士の交流を促しました。



まちのプランター活動

② 子ども向けクラフトワークショップ開催

12月に「小枝と毛糸でクリスマスかざりをつくろう」、3月にはコミュニティスペース椿の庭と共催でワークショップを実施し、地域の子どもたちと大人たちが共に活動しました。



③ ハーブクラフト講座開催

「冬のハーバルバスソルトづくり」の講座を開催し、参加者が生活の中でハーブを活用する方法を学び、プランター活動へのモチベーション向上に繋がりました。市内地域外からも参加があり、活動を広げる機会になりました。



ワークショップの様子

④ 情報発信

SNSで定期的に情報発信を実施。毎月、まちのプランター活動のチラシを地域で掲示、SNSで情報共有しました。また、新聞等にも取り上げられ、視察依頼が増えるなど、活動の認知度向上になりました。

令和6年度（2024年度）事業の成果

まちのプランター活動には最大42名が参加し、未就学児から90代までの方が参加し、多世代交流の場にもなっています。子どもは、まちなかで、自然に触れる機会になり、高齢者は、外出の機会になっています。まちのプランター活動により、より多くの方に楽しんでいただき、参加の機会につながっています。「ゴミが少なくなりました」「成長が楽しみ」とうれしいお声かけもいただいています。管理活動の後に、ミニワークショップを開催して、栽培や管理活動へのモチベーションとなる機会を設け、栽培や管理活動を楽しむ、学びの場にもなっています。ボランティアによる育苗活動は、3回活動し、苗の交換会は、植物に関する情報共有や交流の場としても役立っています。

【団体紹介】

松戸駅から千葉大学松戸キャンパスまでの約1kmのエリアで、野菜やハーブを育て「エディブル・ランドスケープ(食べられる景観)」をつくる活動や、植物を使ったものづくり活動を通して、人びとのコミュニケーションを生み出すことを目的に活動を行っています。

《問合せ先》エディブルウェイプロジェクトチーム

[メール] info@edibleway.org [HP] <http://edibleway.org/> [Instagram]@edible.way

町会・自治会の活動をPRして親しみをもってもらう事業	団体名	できる街プロジェクト
	事業担当課	市民自治課

事業費	559,580円	自己資金	70,808円	負担金	488,772円
-----	----------	------	---------	-----	----------

令和6年度（2024年度）事業の取り組み【報告】

A. 松戸市町会・自治会PR内容の調査・ヒアリング

- ・新松戸地区会（第11話、24/3/19）
- ・明第2東地区会（第11話、24/3/27）



B. 松戸市町会・自治会PR漫画の制作・公開

C. 松戸市町会・自治会PRアニメの制作・公開

第11話～第12話 制作（7/1～2/14）、音声収録（10/15）、公開（第11話 12/12、第12話 2/15）



D. 松戸市町会・自治会PR漫画冊子の制作・無料配布

内容検討（6/1～8/30）、イラスト作成（11/1～2/28）、印刷（2/28～3/15）、配布（3/15～）：市民課、8支所の窓口及び市内公共施設にて配布・配架



E. 宣伝・プレスリリース

- ・J：COMチャンネルでの紹介（10/14）
- ・フライヤー・ポスター配布（3/14～）：市民課、8支所の窓口及び市内公共施設にて配布・配架
- ・テラスモール松戸での「祝 松戸市人口50万人到達メモリアル感謝祭」にてアニメ上映（11/23）
- ・森のホール21での「令和7年松戸市二十歳の成人式」にてスライド上映（1/13）

令和6年度（2024年度）事業の成果

①漫画制作【制作漫画数：2話】

X 視聴回数 第11話：3,954回、第12話：2,776回

②動画制作【制作動画数：2本】

YouTube 第11話：175回 第12話：209回

X 第11話：13,427回 第12話：4,620回

③無料配布用漫画冊子【1冊（28P）、制作冊数：16,000部】 約5,000部配布

④2024年度の町会・自治会加入率 64.8%（R7/3/31時点）

【団体紹介】

2015年10月設立のNPO企画団体・市民公益活動団体。地域活性化を主な目的として、プロアマ問わずクリエイターが多く在籍し、アニメ・漫画を使った市のPR活動、障害者支援、引きこもり支援など多岐にわたり活動。

《問合せ先》

【団体名】できる街プロジェクト【TEL】09049665535【MAIL】project@dekimachi.com

【HP】<https://dekimachi.com/>【担当者名】楠本 慶彦

日本語を母国語としない 子どものための学習支援事業	団体名	認定 NPO 法人 外国人の子どものための勉強会
	事業担当課	国際推進課

事業費	949,947 円	自己資金	449,947 円	負担金	500,000 円
-----	-----------	------	-----------	-----	-----------

令和6年度（2024年度）事業の取り組み【報告】

- 1) 松戸市内で6つの日本語支援の教室を開催、日常的な学習支援を継続
 〈常盤平教室：火曜・木曜・土曜午前・土曜午後〉・〈新松戸教室〉・〈文化ホール教室〉
 実施日数：242日 参加生徒数：1950名 スタッフ数：2044名（全て数字は延べ）
- 2) 集中勉強会
 〈小・中学生夏休み教室〉日数：14日 参加生徒数：229名 スタッフ数：170名（全て述べ）
 〈受験教室〉10月～2月実施日数：22日 参加生徒：121名 スタッフ数：120名（全て延べ）
- 3) スタッフ養成講座
 日本語指導に興味を持ってもらい学習支援への参加を呼びかけるため、松戸市内に広く呼びかけ
 2回の「日本語初期指導研修会を開催。延べ112名の参加があった。
- 4) 地域との協働
 近隣大学学生の教室見学や、当会が大学イベントに参加等して交流進化をはかった。



（中学生マンツーマン授業）



（小学生夏休み教室うちわ制作）



（初期指導のための講習会）

令和6年度（2024年度）事業の成果

- 1) 学生スタッフの増を目指した スタッフ7名増加の内学生4名
 学生は自身の授業や就職などで長期の参加は難しいが、学生と教わる生徒双方に学びが多い
- 2) オンラインによる日本語でのフリートーク教室を14回実施
- 3) 地域との交流事業
 地域大学の学生教室見学は年間10回以上有り、夏休み教室では学生が実際に生徒の学習支援にかかわった。一方当会も大学イベントに参加、ブースを留学生と共に運営し多文化共生のアピールを目指した。

【団体紹介】

外国からやってきて地域の学校に入った子どもを主な対象に、本来その子が持っている能力を大事にしながら、日本語習得と学習の支援を行い自立に向けた応援を目的としている。

《問合せ先》認定 NPO 法人 外国人の子どものための勉強会

Email gaikokukodomo@msn.com

HP URL <https://www.esco-matsudo.org>

地域まるごとで孤育てを 予防する連携システム事業	団体名	まつどでつながるプロジェクト 運営協議会
	事業担当課	子ども政策課

事業費	243,785 円	自己資金	27,097 円	負担金	216,688 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

令和6年度（2024年度）事業の取り組み【報告】

●地域円卓会議…行政・民間それぞれの支援者が集まり、孤立しがちな家庭や子どもについての課題感を共有し、検討する中で相互の連携に向けた関係づくりにつなげることができた。検討ワークショップでは、具体的な個別支援における行政と民間の連携の方法、支援者間の情報交換について検討を起こった。また過去の参加者に対してアンケートを行い、86%の方が円卓会議をきっかけにつながりができたと回答された。



●市民サポーター養成講座…街のいたる場面で子育てをあたたく見守る市民を増やすことを目的として、講演会では「孫育て・他孫育て」をテーマにシニア世代を対象にPRし、現代の子育て環境の変化や地域の関わり的重要性についてお伝えした。連続講座では3回にかけて、今の子育て家庭に対してどのような関わりが求められているのかを学び合い、具体的な活動について検討した。

令和6年度（2024年度）事業の成果

<地域円卓会議>

目標：年3回の実施を予定。延べ80名の参加者を旨す。→延べ127名と達成することができた。

検討ワークショップの開催および実践事例を旨す。→3回実施、情報交換オープンチャットを開設。

○第1回円卓会議の開催 テーマ「乳幼児期における子育ての孤立」 参加者30名

○第2回円卓会議の開催 テーマ「児童期における子どもを取り巻く孤立」 参加者51名

○第3回円卓会議の開催 テーマ「青年期における若者の孤立」 参加者46名

<市民サポーター養成講座>

目標：子育てを街で支えることを幅広く周知するための講演会（年1回、50名の集客を目標とする）および、連続講座の受講生20名を旨す。→講演会38名、連続講座8名と目標には達することができなかつたが、講演会において市内の各団体の情報掲示やPRを行ったことで活動に参加するきっかけをつくることができた。

○公開講演会/みんなが笑顔になれるはじめて・これからの孫育て他孫(たまご)育て…参加者38名

○第1回養成講座「松戸市の子育ての現状、行政・民間の支援を知る」…参加者8名

○第2回養成講座「当事者と共に、地域で必要とされることを考える」…参加者7名

○第3回養成講座「寄り添ったコミュニケーションや関わり方を考える」…参加者7名

【団体紹介】

公的支援が届きづらい、制度からこぼれ落ちてしまいがちな子育て家庭が、身近な地域やサポートにつながれる、抱え込まず「助けて」と声をあげられるよう、地域全体で温かく迎え入れられる環境を作り、「孤立する子育てを防ぐ」ことを目的として様々な事業に取り組んでいます。

《問合せ先》団体名：まつどでつながるプロジェクト運営協議会 住所：松戸市本町13-27
子育てつながるセンターco-no-mi 電話：050-5472-9839 Eメール：info@m-tsunagaru.com
ホームページ：https://m-tsunagaru.com 担当者名：阿部

まつど de SDGs の輪を広げよう プロジェクト事業	団体名	まつど地域活躍塾つながりの会
	事業担当課	松戸市 総合政策部 政策推進課 SDGs 推進担当室

事業費	120,181 円	自己資金	12,019 円	負担金	108,162 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

令和6年度（2024年度）事業の取り組み【報告】

本事業では、市民における SDGs の理解を深め、その浸透・定着を図るとともに、地域振興や社会課題の解決に取り組む市民の行動意識を高めることを目的として、以下の4つの取組すべてを実施することができた。

① 市内事例集の内容を共有する発表会・意見交換会

本会では、「特殊詐欺の防止」「生ごみを活用したい肥づくり」「市民参加型の太陽光発電所の設置」「清掃活動」などをテーマに、市民団体による事例発表が行われた。これらは、本会が重視する SDGs 目標 11「住み続けられるまちづくりを」および目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」と深く関連しており、具体的な地域実践として紹介された。



SDGs フォーラム

② 地域学習会

主に企業における SDGs の具体的な取組事例が紹介され、市民が自ら取り組めるアクションについて考える機会を提供した。企業の実践からヒントを得ることで、市民一人ひとりの行動変容を促す内容となった。

③ フォーラム

「気候変動と自己肯定感の関係性」に焦点を当て、市民が主体的に環境問題や SDGs に向き合うきっかけを提供した。環境活動家・谷口たかひさ氏による講演では、気候変動の現状や行動の重要性が語られ、「気候変動を自分ごととして捉える」意識の醸成が図られ、地域での持続可能な活動への関心が高まった。

④ ネットワーク団体との会合

既存の 19 団体に加え、新たに 3 団体が参加し、ネットワーク団体数を 3 団体へと拡大することができた。これにより、地域内外の連携が一層強化され、今後の協働による SDGs 推進に向けた基盤が整った。

令和6年度（2024年度）事業の成果

① 市内の事例集の内容を共有する発表会・意見交換

- ・ 目標：事例集より 6 事例以上の団体等による取組みを発表する。
- ・ 実績：4 事例

② 地域学習会

- ・ 目標：2 回実施、参加者合計 40 人（20 人程度/回）
- ・ 実績：4 回実施、参加者合計 102 人（1 回 26 人程度）

③ フォーラム

- ・ 目標：実施 1 回、参加者合計 50 人
- ・ 実績：実施 1 回、参加者合計 86 人

④ ネットワーク団体との会合

- ・ 目標：現行の 19 ネットワーク団体に加え、新たに 3 団体が参加し 22 団体へ広げる
- ・ 実績：3 団体、団体合計 22 団体

【団体紹介】

2017 年松戸市で開催した「まつど地域活躍塾」の修了生有志によって 2019 年に立ち上がった団体で、活躍塾の目標を実現するため、修了生の地域での活動・活躍を支援し、地域の活性化に寄与することを目的としている。当会では、2019 年 4 月から SDGs 推進メンバーが中心となって松戸市民が SDGs により関心を持ち、個々の行動につながることを目指し、市内の活動団体・企業と連携した普及啓発活動を行っている。

《問合せ先》まつど地域活躍塾つながりの会 SDGs 推進チーム 担当: 佐藤 秀樹

Email: sdgsmatsudo@gmail.com

Facebook: <https://www.facebook.com/matsudo.tsunagarinokai>

『まつどちゃん』シリーズ 製作事業	団体名	まつどアソビティ
----------------------	-----	----------

事業費 114,728 円	自己資金 36,482 円	助成金 78,246 円
---------------	---------------	--------------

令和6年度（2024年度）事業の取り組み【報告】

松戸の子どもたちが市内各所を冒険しながら、視聴者に松戸の魅力や情報を届ける一連の動画コンテンツ『まつどちゃん』シリーズを製作し、配信した。

企画・制作に際しては、市内から出演希望者・制作協力者・情報提供者等を募り、自治的で協働的な運営体制を築きながら行った。

・撮影は15回おこない、『プレーパークで流しそうめん!! 冒険遊び場まつどあそぼうよ』・『新松戸らへんで、釣り・森・ベリーな大冒険!!』・『科学と芸術の丘』で、まつどちゃんがカタリストになってみた!!』など、合計8本の動画を配信した。



令和6年度（2024年度）事業の成果

目標①シリーズ動画の総再生回数2万回

▶動画の再生回数は1601回、並行して行ったInstagramでのショート動画の再生回数は6759回であった。

目標②制作に関わる市民100人

▶出演者は、松戸の子どもたち16名（メイン出演10名・サポート出演6名）、松戸市民20名。企画に関わった人は7名。その他、出演者の保護者・動画制作に関わった人は20名。計63名ほどが関与した。

現代の社会環境を鑑みたときの本質的な成果として、これまで同じ地域に暮らしながら直接関わることのなかった大人と子供が、協働的な関係性で関与する機会となったことが大きな成果であると言える。

【団体紹介】

子どもの「遊ぶ権利」を保障する視点から、子ども達が経験する「あそび」の価値を重視し、松戸市の子ども達が自治的に、且つ、豊かにあそぶことができる場と機会を創出するために活動を行う。

《問合せ先》

まつどアソビティ本部

住所：〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 408-1

Eメール：matsudoasovity@gmail.com

「おひとりさま安心」講演会・相談会事業	団体名	特定非営利活動法人おひとりさま安心コンシェルジュ
---------------------	-----	--------------------------

事業費 20,280 円	自己資金 2,028 円	助成金 18,252 円
--------------	--------------	--------------

令和6年度（2024年度）事業の取り組み【報告】

●フレイル予防の講演・体験会および終活相談会

高齢者の方々が、一人でできる範囲を狭めずにできる限り健康に過ごすために、要介護状態と健康な状態の間を示す「フレイル状態」について、松戸市健康推進課職員のご協力のもと、フレイルの危険や予防の講演、参加者自身の危険度を図る測定体験を実施しました。

また、並行して、フレイル予防だけではカバーしきれない、加齢によって判断能力の低下などで必要となる法的な支援等の相談もできる終活相談会を実施いたしました。

●「おひとりさま安心」相談会

成年後見の種類（法定後見、任意後見など）や費用面（専門職と親族など）をはじめ、入院、死後の手続きなど、ご自身が心配されている事柄について、不安や問題点を丁寧に聴く相談会を実施しました。

令和6年度（2024年度）事業の成果

●フレイル予防の講演・体験会および終活相談会

フレイル予防の知識的なことだけでなく、講師の指示に合わせて体を動かす参加者が多く、更に講演後の体験会はほぼ参加するなど、市民にとって興味あるテーマであったと感じ、今後も健康など高齢者の興味のある講演会をしつつ、高齢者の成年後見支援に力を入れていきたいです。

●「おひとりさま安心」相談会

本事業の相談会は、昨年と異なりほぼ満席になることはなかったものの、昨年に引き続き本助成事業団体として継続的な相談会実施により、当 NPO への直接的な相談が増えたことや支援することもあるなど、おひとりさまの支援の必要性をより感じる1年となりました。

【団体紹介】

高齢者、とくに“おひとりさま（独居高齢者）”に寄り添い、成年後見、身元保証、お墓のことなど、おひとりさまが抱える問題について、成年後見の専門家である、司法書士、社会福祉士、社会保険労務、税理士、ケアマネージャーが丁寧に話を聞きながら、ワンストップで法的な問題の解決を支援いたします。

《問合せ先》

特定非営利活動法人おひとりさま安心コンシェルジュ
 所在地：〒271-0047 松戸市西馬橋幸町 59 番地
 電話：047-711-8150

ぶどうの家 おもしろ実習教室 事業	団体名	特定非営利活動法人 葡萄の家
-------------------	-----	----------------

事業費 132,716 円	自己資金 32,716 円	助成金 100,000 円
---------------	---------------	---------------

令和6年度（2024年度）事業の取り組み【報告】

障がいのあるなしに関係なく、参加者同士が、同じイベント内で、同じスペース・同じ時間を過ごす事によって、「障がい」というのも一つの個性だと理解してもらいたいという目的で、開催しました。

8月4日（日） 第10回 おもしろ実習教室「三角ヘリコプター」

まつど市民活動サポートセンター 多目的ホール 10:30～・13:00～・15:00～

障がいについて理解を深めてもらうために、ポスターを展示し、チラシを作成して来場者に配布しました。



令和6年度（2024年度）事業の成果

「1日3回の講座を開き、1回の講座で50人を集める」は、3回の講座の参加者合計は66名でした。そのうち、障がいのあるかたは、4名でした。

「アンケートの評価で、「満足した」を70%以上もらう」は、96.9%の方が満足をしていただきました。

【団体紹介】

柏市で知的障がい者グループホーム「第一ぶどうの家」を運営しています。

また、障がいのあるなしに関係なく、参加できるイベントを実施しています。

イベント内で、同じ場所・同じ時間を過ごすことによって、障がいも一つの個性だと理解してもらう事を目標にしています。

《問合せ先》

特定非営利活動法人葡萄の家 事務所：松戸市本町6-8-801

TEL・FAX 047-364-6899 budou_ie@yahoo-co.jp

担当者：西手 にして

社会起業家・副業家としての創業機運醸成事業	団体名	サステイナブルな市民活動研究所
事業費 191,228 円	自己資金 97,952 円	助成金 93,276 円
<p>令和6年度（2024年度）事業の取り組み【報告】</p> <p>本事業「社会起業家・副業家としての創業機運醸成事業」は、松戸市内の市民活動団体が抱える「活動資金の不足」や「後継者の不在」といった課題の解決を目的にスタートしました。特に、現役の会社員が市民活動に関わりやすくし、継続して関与できる仕組みづくりを目指してきました。</p> <p>まず、事業の第1ステップとして「社会副業家セミナー」を開催しました。このセミナーでは、地域貢献に関心のある会社員に向けて、市民活動に関わる具体的な方法を紹介。外部講師や先輩起業家による実体験の共有もあり、参加者が自分の経験やスキルをどのように地域に活かせるかを考える貴重な機会となりました。また、これからの人生設計を見直すきっかけにもなり、参加者からは「学びが多かった」との声が寄せられました。</p> <p>続く第2ステップでは、セミナー参加者同士が学び合い、支え合う場として「共学共創コミュニティMTG」を実施しました。会社の外でつながりを持てる機会は少ない中、こうしたコミュニティは非常に価値ある場となりました。</p> <p>この1年を通じて、セミナーは順調に実施できた一方で、参加者同士の深いつながりをつくるには、さらなる時間と工夫が必要だと実感しました。今後は、より強固なコミュニティ形成に向けたサポート体制の強化が課題です。</p>		
<p>令和6年度（2024年度）事業の成果</p>		
<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年度内に3回のセミナーを開催／各回の目標は「20名（年間60名）」 →4回のセミナーを開催、実績年間26名 ● 有志により共学共創コミュニティを育成、目標は「30名」の入会者→実績23名 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月7日：第1回社会起業家セミナー（参加者14名＋スタッフ6名） ● 1月11日：第2回社会起業家セミナー（参加者4名＋スタッフ2名） ● 2月24日：第3回社会起業家セミナー（参加者6名＋スタッフ2名） ● 3月8日：第4回社会起業家セミナー（参加者2名＋スタッフ2名） 		
<p>【団体紹介】</p> <p>社会性と経済性の両方のインパクトを与えるソーシャルビジネス支援事業を行うことにより、強い思いのある（市民活動を含む）非営利組織がいつまでも活動を維持できる社会の実現を目的とする。（ここで言う「経済性」とは、営利を目的としたものではなく、団体運営における持続可能な活動資金・自主財源の獲得を指す）</p> <p>《問合せ先》</p> <p>団体名：サステイナブルな市民活動研究所／電話：080-4191-0428（柳葉携帯）／Eメール：susken2022@gmail.com／ホームページ：https://note.com/susken2022／担当者名：柳葉</p>		



<p>四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業</p>	<p>団体名</p>	<p>小金原みんなでわくわくする会</p>
--------------------------------	------------	-----------------------

<p>事業費 354,961 円</p>	<p>自己資金 105,085 円</p>	<p>助成金 249,876 円</p>
----------------------	-----------------------	----------------------

令和6年度（2024年度）事業の取り組み【報告】

1. 目的；小金原地区のSWOT（強み弱み）分析をSDGs活動の観点から整理し、具体的な活動テーマに絞り、明るく住み易い地域社会の維持及び発展に資すること。
2. 実施内容；
 - 1) SDGs活動会（年4回）は3年目を迎え、5項目の活動テーマでスタートしたが、より効果が期待できる下記3テーマに統廃合して実践活動を行った；②④ 高齢者支援と町会館活用、③ 落葉の堆肥活用化、⑤ 第2回四世代交流会開催、①グリスロは、活動成果創出難しいため中止
 - 2) ②④；町民講座の開催とふれあいサロン会（3回実施）；
 - (1)エンディングノート、(2)成年後見制度、(3)認知、及び講座後のふれあいサロン会開催
 - ③；(1)やまばと公園のコンポスト・花壇設置申請、緑化愛護団体申請（三丁目町会）
 - (2)コンポスト設置作業、公園内落葉の収集と花壇づくり（市より花苗頂く）
 - ⑤；町会員による音楽演奏、地元クラブのフラダンス、ビンゴ、全員合唱による四世代交流会



SDGs勉強会

町民講座

コンポスト製作、落葉投入

花壇の花植え

落ち葉回収

第2回四世代交流会

令和6年度（2024年度）事業の成果

- 1) SDGs活動会；活動の企画立案、推進フォロー（4回実施）参加者延べ50/80名
- 2) 町民講座の開催とサロン会（3回実施）参加者延べ35/60名
- 3) やまばと公園のコンポスト・花壇設置認可取得及び、緑化愛護団体申請（三丁目町会の支援）
- 4) コンポスト設置、公園内落葉の収集と花壇づくり 参加者延べ175名
- 5) 第2回四世代交流会開催；地元のフラダンスも華を添え参加者も前回62名⇒87名（小学生以下6名含む）と増加。

【団体紹介】小金原地区で、町会と連携してSDGsの勉強・実践活動を推進しています。明るく住み易い生活環境実現のため、公園内のコンポスト設置、落葉の堆肥づくりや、花壇の花植えを行っています。学生や若い世代の方々、シニアで花や堆肥づくりに詳しい方は、是非参画ください。

《問合せ先》 小金原みんなでわくわくする会:松戸市小金原三丁目4-5 小金原会館内
Tel:343-4816、Fax:343-4824、e-mail:nobifuna@aol.com、担当者:船橋

協働のまちづくり基金

令和6年度は 市民活動助成事業

5事業 を応援しました！！

スタート助成

- 『まつどちゃん』シリーズ制作事業・・・・・・・・・・・・・・・・P6
- 「おひとりさま安心」講演会・相談会事業・・・・・・・・・・・・P7
- ぶどうの家 おもしろ実習教室事業・・・・・・・・・・・・・・・・P8
- 社会起業家・副業家としての創業機運醸成事業・・・・・・・・・・P9

ステップアップ助成

- 四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業・・・・・・・・P10

【 協働のまちづくり基金とは 】

市民、市民活動団体、事業者の皆様から寄せられた寄附金及びその同額を市費で積み立てるマッチングギフト方式を取り入れた基金です。この基金がまちを明るく元気にする「市民活動助成制度」の原資となっています。

市では、皆様からの寄附金のほか、チャリティー自動販売機の設置を通じて基金を育成しています。市民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

HP 松戸市トップページ ▶ くらし ▶ 市民活動 ▶ 協働のまちづくり（市民活動の活性化と協働の推進） ▶ 協働のまちづくり基金

http://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou_machidukuri/kikin/index.html

令和6年度 協働のまちづくり基金 寄附者一覧

ご寄附いただきました皆様にお礼申し上げます。

- ・ 東京キリンビバレッジサービス株式会社 様
- ・ コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 松戸支店 様
- ・ 洗濯屋あべ 様
- ・ 株式会社伊藤園 松戸支店 様
- ・ チャリボンを通じて寄附して下さった皆様
- ・ メルカリ寄付を通じて寄附して下さった皆様
- ・ 銀行振込などで直接寄附して下さった皆様

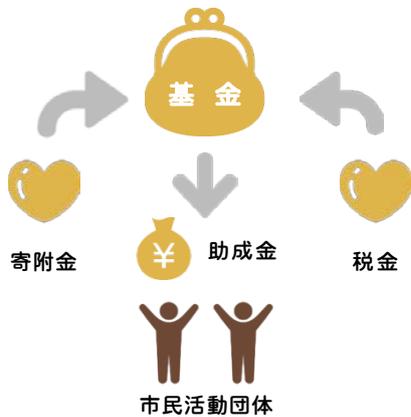
※公表に同意いただいた方のみ掲載しています。



市民活動助成金は

寄附

を活用しています



市民活動助成金は、市民や民間事業者のみなさんから、市民活動団体の支援のために寄せられた「寄附金」と「税金」を合わせた「協働のまちづくり基金」を原資としています。豊かで元気な松戸市を目指して、市民活動を寄附で応援しませんか？

「協働のまちづくり基金」は、皆さんからいただいた寄附金と、その寄附金と同額を市の財源から合わせて積み立てる「マッチングギフト方式」を取り入れています。

チャリティー自動販売機

市内に16台あるチャリティー自動販売機で飲み物を購入すると、売上金の一部が寄附されます。

まつど市民活動サポートセンターなどに設置しています。

- ・まつど市民活動サポートセンター
- ・市役所駐車場入口
- ・矢切支所
- ・常盤平支所
- ・新松戸支所
- ・ユーカリ交通公園
- ・洗濯屋あべ
- ・常盤平老人福祉センター
- ・シニア交流センター
- ・小金原市民センター
- ・小金支所
- ・ひがまつテラス



チャリティー自販機について
←詳しくはこちら

寄附をお待ち
しています



松戸市協働のまちづくり基金について
詳しくは市ホームページをご覧ください



松戸市 市民自治課 電話 3 6 6 - 7 3 1 8

チャリボン

いらなくなった本をチャリボンに送ると、その本の買取査定額が寄附されます。



CHARITY
BY THE BOOK

メルカリ寄付

メルカリで出品した商品の売上金を、メルペイ残高を通じて寄附できます。



銀行振込

市役所総務課にご連絡の上、銀行振込で直接基金に寄附できます。

発行

令和7年5月

松戸市 市民部 市民自治課

〒271-8588 松戸市根本387-5

TEL 047-366-7318

FAX 047-704-4009

E-mail mcshiminjichi@city.matsudo.chiba.jp